

基礎教育学習・認定プログラム等における誤判定に関する報告

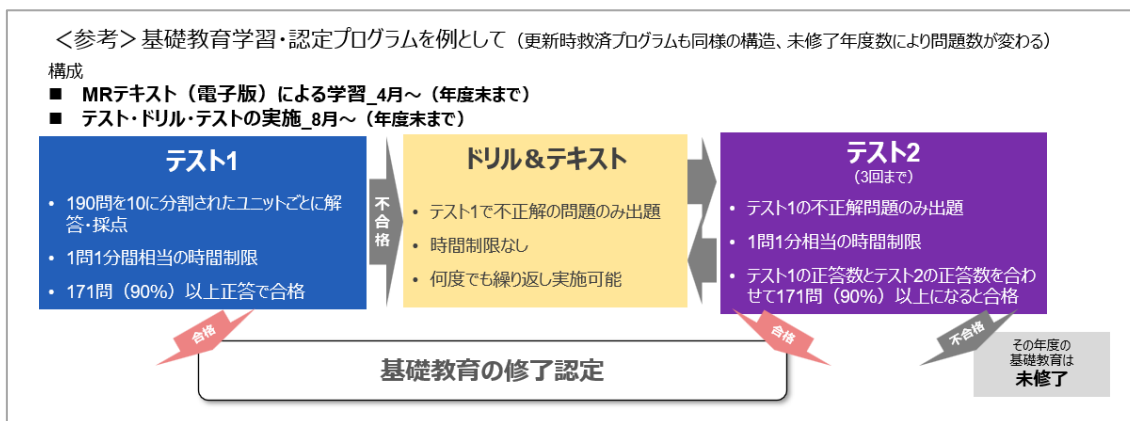
2026 年 8 月 24 日

公益財団法人 MR 認定センター

【事象】

2026 年 8 月から稼働した「基礎教育学習・認定プログラム」および「更新時救済プログラム」の合格判定ロジック(テスト 2 部分)が、制度上予定していた判定方法と異なっていることが判明した。

<基礎教育学習・認定プログラムの仕組み>



(1)テスト 2 に進んだ場合の本来の判定方法

テスト 2 での合格判定は次の式とする。

■ テスト 1 の正答数 + テスト 2 の正答数 $\geq$ 171 問(90%)

ただし、テスト 2 の第 1 回、第 2 回および第 3 回は、それぞれ独立して判定する仕組みである。（更新時救済プログラムについても、対象となる問題数は異なるが、同じ判定構造を採用している。）

(2)テスト 2 に進んだ場合に実際に行われていた判定

テスト 2 の各回を独立して判定せず、複数回の受験を通じて正答した問題を累積し、そのユニーク数を用いて合格を判定していた。

そのため、各回単独では合格基準を満たしていないにもかかわらず、誤って合格となる場合が生じていた。

【事象発見の経緯】

8 月 7 日に MR サポートデスクに基礎教育学習・認定プログラムを行った認定企業の教育研修担当者から問い合わせがあり、システムベンダーによる調査の結果、発見した。

【当該事象に伴い想定される影響】

二つのプログラムは基本的に同じ構造で、同様の判定方法を使用している。また、「更新時救済プログラム」は、認定更新申請とも連動していることから、次の 3 つの事象が発生している可能性が想定された

1. 本来は合格要件を満たしていない者が、基礎教育学習・認定プログラムに合格し、2026 年度の基礎教育を「修了認定」された状態となっている可能性
2. 本来は合格要件を満たしていない者が、更新時救済プログラムに合格し、「認定更新の要件を満たした」状態となっている可能性
3. 更新時救済プログラムの誤った合格判定に基づき、すでに「認定更新申請を行っている」可能性

【実際の影響】

影響は次のとおりであった。

1. 基礎教育学習・認定プログラムの誤判定者 :14 名
✓ (受講完了者:6,899 名、合格判定者:6,899 名、内誤判定者:14 名)
2. 更新時救済プログラムの誤判定者 :0 名
✓ (受講完了者:104 名、合格判定者:104 名、内誤判定者:0 名)
3. 誤判定に基づく認定更新申請者 :0 名
✓ (—————対象者なし—————)

現時点の確認では、影響は基礎教育学習・認定プログラムにおける修了認定に限定され、更新時救済プログラムおよび認定更新申請への波及は確認されていない。

【緊急対応】

新たな誤判定とその後の処理を防止するため、二つのプログラムおよび認定更新申請機能を 8 月 20 日 0 時から停止するとともに、発行準備中の認定証の発送を停止した。

【今後の対応】

センターとしては、制度で定めた合格基準に基づく正しい制度運用への回復を基本方針とする。

1. 両プログラムを正しい判定ロジックに修正し、検証および受入確認後に利用を再開すること
2. 誤判定者等について、正しい判定結果に基づき、合否、修了認定状態その他の関連データを修正すること

上記の結果、誤判定による合格となっていた方 14 名及び所属企業にお詫びするとともに、当該プログラムのテスト 2 の 2 回目、もしくは 3 回目の受験を依頼する。

なお、上記修正の結果、テスト 2 の 3 回目で不合格判定が直ちに確定する対象者はおらず、修了認定状態から実施中にステータスを変更することで不利益を被る方はいなかった。